

雑 報

法学会研究報告記事

(2024年4月～2025年3月)

2024年7月3日(水)

博士前期課程2年次春学期末
研究報告会／9月修了予定
者博士前期課程学位論文報
告会

○当事者の一方と第三者との
間の法律関係を対象とする
確認の利益 SHI JINPU

○米国連邦種の保存法の保護
範囲の決定にかかる考慮要
素の揺らぎ——最近10年
間の動向 小谷野 有以

2025年1月11日(土)

博士前期課程学位論文報告会
／博士後期課程2年次生
博士論文中間報告会

○米国連邦種の保存法の合目
的な行政運用の変遷と将来
の課題——最近10年間の
動向を踏まえて 小谷野 有以

○当事者の一方と第三者との
間の法律関係を対象とする
確認の利益 SHI JINPU

○WTO紛争解決制度におけ

る司法敬讓——上級委員会
の分析完遂 (completing the
analysis) への着目 服部 莉奈

○障害年金における障害認定
のあり方に関する考察
漆原 香奈恵

○多重株主代表訴訟の導入と
中国における運用の可能
性 ZHANG YAOTING

○武力紛争法における比例性
(proportionality) 原則の考
慮要素の変化——発電所の
破壊に係る間接損害
(indirect effects) を事例と
して 秋山 俊大

比較法・外国法研究会記事

(2024年4月～2025年3月)

第217回 2024年4月20日

○基本権保障をめぐるEUお
よび加盟国裁判所間の対話
——イタリア憲法裁判所に
よる「再集権化」(ri-
accentramento) を題材に
東 史彦

第218回 2024年7月27日

○『キーコンセプト法学史』
——基礎法の教科書と講義
の在り方を実践から考える
松本 尚子

第219回 2024年10月26日

○ロシア国際私法の歴史と
現状 ヒトロフ(加藤) 美月

第220回 2024年11月23日

○国際投資法における先住民
族の権利 土屋 志穂

第221回 2025年3月21日

○イタリアの緊急事態法制
(Piergigli, V., Diritto
costituzionale dell'emergenza,
Giappichelli, 2023) 東 史彦

保険法研究会記事

(2024年4月~2025年3月)

第100回 2024年4月13日

○東京高判令和4年2月15
日 Westlaw Japan 2022
WLJPCA02156010 甘利 公人

○松山地判令和5年2月7日
Westlaw Japan 2023
WLJPCA02076009 吉川 良平

第101回 2024年6月1日

○神戸地判令和5年1月12
日金判1669号47頁
真継 亜希子

○仙台高判令和5年2月1日
自保2150号140頁 清水 太郎

第102回 2024年7月20日

○福岡高宮崎支判令和2年7
月8日判時2511号78頁
天野 泰隆

○東京地判令和4年4月15
日 Westlaw Japan 2022
WLJPCA04156005 北澤 哲郎

第103回 2024年10月5日

○大阪高判令和5年4月14
日金法2223号64頁 山田 康裕

○東京地判平成30年5月30
日判タ1469号234頁 梅村 悠

第104回 2024年12月7日

○東京地判令和3年9月28
日 Westlaw Japan 2021
WLJPCA09288022 中村 聡宏

○名古屋地判令和元年6月
26日判タ1473号167頁
島 智久

第105回 2025年2月15日

○東京地判令和4年11月30
日判タ1505号181頁
黒田 佳祐

○広島高岡山支判令和5年
12月21日 Westlaw Japan
2023WLJPCA12216002(原
審 岡山地判令和5年6月
7日 Westlaw Japan 2023
WLJPCA06076001) 天野 康弘

環境法研究会記事

(2024年4月~2025年3月)

第1回 2024年11月23日(土)

○グローバル化時代の条例論

と環境保護 川端 倅司

○書評：川端倅司著『条例の法的性質と地方自治の保障』（弘文堂、2024年）

釵持 麻衣

刑事法研究会記事

(2024年4月～2025年3月)

第30回 2024年5月25日(土)

○判例研究「被告人が、自動車を運転中に、進路適正保持義務に違反し、反対車線に停止中の自動車と衝突する人身事故を起こした過失運転致傷の事案において、原審裁判長が、検察官に対し、被告人が故意に事故を起こしたとの認定に至った場合に備えた対応の検討を求め、訴因変更を促す釈明権を行使したことについて、刑訴法312条2項の予定する範囲を超え、同法の定める当事者主義の原則に反する違法があるとされた事例（東京高判令和3年3月24日判例タイムズ1492号131頁）」 岩下 雅充

○判例研究「インターネットの個人利用者による表現行為と名誉毀損罪の成否（最決平成22年3月15日刑集64巻2号1頁）」 穴沢 大輔

○研究報告「患者の仮定的同意とインフォームド・コンセント」 富山 侑美

第31回 2024年7月22日(土)

○判例レビュー（2023年5月～2024年5月）

○判例研究「処分決定に対する抗告の可否（最高裁昭和60年5月14日第三小法廷決定刑集39巻4号205頁）」

吉中 信人

○研究報告「行政書士法19条1項違反の罰則について」

穴沢 大輔

第32回 2024年9月21日(土)

○判例研究「幼児に対する監禁・事実上の養育者が複数存在する場合の保護責任者不保護罪の成否—ベビーサークル事件（大阪地堺支判令和6年2月16日裁判所ウェブサイト、大阪地堺支判令和5年12月13日裁判所ウェブサイト）」 水留 正流

○判例研究「住宅周囲の敷地内にある石段部分について、切れ目なく囲まれている囲障の外側に位置しているとして、住居侵入罪における囲障地に該当しないとされた事例（大阪高判令和5年5月15日判タ1513号）」

137頁) 牧 耕太郎

第33回 2024年11月16日(土)

○研究報告「違法収集証拠排除法則の回顧、現状と展望」
朝山 芳史

○判例研究「家族間のETC
カード貸与による高速道路
通行料金支払いについて電
子計算機使用詐欺罪を認め
た裁判例(大阪地裁令和6
年5月8日判決裁判所ウェ
ブサイト)」 山中 純子

第34回 2025年1月25日(土)

○研究報告「滝山病院事件と
精神保健福祉法の課題——
報道等の資料から」 水留 正流

○研究報告「罰金刑と労役場
留置をめぐる問題点」
神谷 竜光

第35回 2025年3月15日(土)

○判例研究「京都ALS患者
囑託殺人事件(大阪高判令
和6年11月25日、京都地
判令和6年3月5日)」
富高 彩

○研究報告「性の多様性と性
犯罪—那覇地判令和6年6
月14日の検討を通して—」
富山 侑美